福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

PRESS RELEASE

FaN
Fukuoka Art Next

令和 4 年 10 月 5 日

市政記者各位

福岡市美術館

特別展「藤野一友（ふじのかずとも）と岡上淑子（おかのうえとしこ）」を開催

関連イベントとして記念講演会も開催

福岡市美術館では、11 月 1 日（火）より特別展「藤野一友と岡上淑子」を開催します。
藤野一友(1928-80)は 1950 年代より二科会を中心に活動した、細密な描写による幻想絵画で知られる画家です。同じく 1928 年生まれの岡上淑子は、進駐軍が残した洋雑誌の写真を用いたコラージュ作品で知られる美術家です。二人は 1951 年に文化学院で出会い、1957 年に結婚。二人は、ともにシュルレアリスムから影響を受け、また、女性の身体を多く表しています。

本展では、藤野一友と岡上淑子の作品を 2 つの個展形式で紹介します。それぞれの表現の特徴、共通点と差異が鮮やかに浮かびあがり、その活動を醸成し共鳴した時代も見えてくることでしょう。

また、期間中に関連イベントとして、記念講演会の開催も予定しています。

つきましては、本展の広報にご協力いただきますようお願いいたします。

特別展　藤野一友と岡上淑子

会　　期	令和 4 年 **11 月 1 日**（火）～令和 5 年 **1 月 9 日**（月･祝）
会　　場	福岡市美術館　2 階特別展示室
開館時間	午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分（入館は閉館の 30 分前まで）
休 館 日	毎週月曜日、12 月 28 日(水)～1 月 4 日（水） ※1 月 9 日（月・祝）は開館
観 覧 料	一般 1,300 円、高大生 800 円、中学生以下無料 ※20 名様以上の団体及び満 65 歳以上は 100 円引

※展覧会の詳細は本展チラシをご覧ください。

関連イベント

◆記念講演会「岡上淑子とその時代」

岡上淑子のコラージュ作品について、また藤野と岡上の活動していた日本の戦後という時代について、新しい見地からお話しいただきます。

日　　時	令和 4 年 **11 月 12 日**（土）14:00～15:30（開場 13:30）
会　　場	福岡市美術館　1 階ミュージアムホール
講　　師	巖谷國士（仏文学者、美術評論家、明治学院大学名誉教授）
定　　員	180 名（事前申込不要）
料　　金	聴講無料

◆つきなみ講座「藤野一友と岡上淑子」

本展の開催意図や見どころ、ふたりの作品の魅力についてお話しします。

日　　時	令和４年 11 月 26 日（土）15:00～16:00（開場 14:30）
会　　場	福岡市美術館　１階レクチャールーム
講　　師	正路佐知子（福岡市美術館 学芸員）
定　　員	54 名（事前申込不要）
料　　金	聴講無料

※新型コロナウイルスの感染状況等により、イベントの予定や内容に変更が生じることがあります。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組みながら開館しております。
※来館時にはマスクの着用、手指の消毒等にご協力ください。

【問い合わせ先】
経済観光文化局　美術館学芸課　（担当：正路・山木・岩永）
TEL:092-714-6051

Fujino Kazutomo Okanoue Toshiko

岡上淑子《戦士》1952年、栃木県立美術館蔵

藤野一友 と 岡上淑子

2022.11.1［火］—2023.1.9［月祝］

休館日‖月曜日（ただし1月9日は開館）、12月28日—1月4日　開館時間‖9:30−17:30（入館は17:00まで）

福岡市美術館 特別展示室

藤野一友《抽象的な籠》1964年、福岡市美術館蔵

福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

Okanoue Toshiko Fujino Kazutomo

藤野一友 と 岡上淑子

Fujino Kazutomo | Okanoue Toshiko

藤野一友《ルクレチア》1957年、福岡市美術館蔵

藤野一友《聖アントワーヌの誘惑》
1958年、福岡市美術館蔵

藤野一友《題不詳》1959年、福岡市美術館蔵

藤野一友《カテドラル》1961年、個人蔵

藤野一友・大林宣彦共同監督『喰べた人』1963年
© 株式会社大林宣彦事務所

藤野一友（1928-1980）は1950年代より二科会を中心に活動した、細密な描写による幻想絵画を特徴とする画家です。神話や西洋古典絵画、シュルレアリスムを下敷きに編まれた世界は、絵画のみならず舞台の演出・美術、詩や小説の執筆、装丁、挿画、映画とジャンル横断的に幅広く展開しました。1965年に病に倒れ、1980年に早逝しますが、没後も作品がSF小説の表紙を飾るなど、現在までインパクトを与え続けています。

同じく1928年生まれの岡上淑子は、コラージュ作品で知られる美術家です。1950年から1956年までという短い期間に、進駐軍が残した洋雑誌の写真からイメージを切り取り、紡ぎ出された夢見るような世界は、発表当時から注目を集めました。2000年に再び光が当たり、近年では高知県立美術館や東京都庭園美術館でも個展が開かれています。

1951年頃に文化学院で出会った藤野と岡上は1957年に結婚。「作風がどことなく似てましたでしょ」と後年岡上が語っているとおり、両者の作品はシュルレアリスムの影響や受容の中で考察できるものです。また、メインモチーフが女性の身体であることも双方の作品の特徴といえるでしょう。その身体は時に断片化し、時に異形なものに変容しますが、藤野作品では家父長的な戦後日本社会における男性優位のまなざしを、岡上作品では戦後の日本で女性が抱いた夢と苦悩を読み取ることも可能です。

福岡市美術館は1982年に藤野一友展を開催し、代表作を含む作品・資料を多数所蔵しています。40年ぶりとなる回顧展は岡上淑子との2人展として行います。時代順に作品を紹介する2つの個展形式で構成することで、ふたりの表現の特徴、共通点と差異が鮮やかに浮かびあがります。また、その活動を醸成し共鳴した時代も見えてくることでしょう。

［関連イベント］

※事前申込不要。会場へ直接お越しください。

記念講演会 | 岡上淑子とその時代

岡上淑子のコラージュ作品について、また藤野と岡上の活動していた
日本の戦後という時代について、新しい見地からお話しいただきます。

講師‖巖谷國士（仏文学者、美術評論家、明治学院大学名誉教授）
日時‖11月12日［土］14:00−15:30（予定）
会場‖福岡市美術館1階 ミュージアムホール　**定員**‖180名

つきなみ講座 | 藤野一友と岡上淑子

本展の開催意図や見どころ、ふたりの作品の魅力についてお話しします。

講師‖正路佐知子（福岡市美術館 学芸員）
日時‖11月26日［土］15:00−16:00
会場‖福岡市美術館1階 レクチャールーム　**定員**‖54名

［観覧料］

一般1,300円（1,200円）| 高大生800円（700円）| 中学生以下無料

※高大生の方は、券売所で学生証や生徒手帳等をご提示ください。※（　）内は20名以上の団体、満65歳以上の割引料金。
※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名、および特定疾患医療受給者証、特定医療費（指定難病）受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料

［主催］
福岡市美術館、読売新聞社、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス

［交通案内］地下鉄：《空港線》大濠公園駅（福岡市美術館口）下車、徒歩10分《七隈線》六本松駅下車、徒歩10分。西鉄バス：［系統番号13・140］で「福岡市美術館東口」下車、徒歩3分［系統番号6・7・12・113・114・200〜206・208］で「赤坂三丁目」下車、徒歩5分［系統番号6-1］で「福岡城・NHK放送センター入口」下車、徒歩3分

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、展覧会および関連プログラムに変更が生じる場合があります。来館前にホームページで最新情報をご確認ください。

岡上淑子《トマト》1951年、東京都写真美術館蔵

岡上淑子《人形師》1951年、東京国立近代美術館蔵

岡上淑子《海のレダ》1952年、個人蔵

岡上淑子《招待》1955年、高知県立美術館蔵

岡上淑子《手》1955年、高知県立美術館蔵

福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
Tel. 092-714-6051 | Fax. 092-714-6071
www.fukuoka-art-museum.jp